

「外来舞踊の導入と 舞踏的遊戯の生成過程」

一 明治期における舞踏の史的考察一

松本千代栄
香山知子

I. 研究目的

本研究は、明治初期に始まった舞踏的遊戯を、行進遊戯及び唱歌遊戯に類別し、舞踏技術の側面から、外からの運動文化の導入と、内からの創造の所産とを明らかにし、あわせて明治教育の理想の一面を、舞踏的遊戯の面から、究明しようとしたものである。

II. 研究方法

明治期に刊行された遊戯書162冊のうち、行進遊戯・唱歌遊戯に関する文献97冊を、発行年別、対象別に分類し、舞踏的遊戯の①「目的」、②「種類」、③「順序方法」^{註(1)}について、内容を検討した。尚、対象文献97冊は、国立国会図書館明治期刊図書目録3.及び「体育書解題」(野口岩三郎、昭和28年、不昧堂)から抽出した。

III. 結果及び考察

隊形変化系の行進遊戯1についてみると、表1のようになる。この表は、明治18年～45年の関係著書30冊について、年代別に隊形変化と歩法についてまとめたものであり、数字は、行進遊戯曲目数を示し、○かこみは、明治18年～29年、□かこみは、明治30年～39年、△かこみは、明治40年～45年にみられた曲目である。この表より、明治18年～20年代は歩きながら、円形、十字形、方形、渦巻等様々な隊形をとる遊戯が主であり、明治30年代は、隊形変化に加えて、歩きながら、チェーンやターン、十字形に手をくむムリネなど、手を使う技術が導入され、明治40年代には、隊形は、円形と直線が中心となり、「叩歩」「鶴鳥歩」などのステップが多く用いられる。

次にフォーク・スクウェア系の行進遊戯曲目についてみると、表2のようになる。この表は、関係著書38冊にみられる85曲目のうち、各著書に多くみられる順に上位22曲目を一覧表にしたものである。この表より上位4曲目は、方舞、対舞が占めており、それは明治中後期を通じてみられ、36年頃を境に、「スケーティング・ダンス」や「スワロー」等の円舞や環舞の導入がみられる。

次に唱歌遊戯について、作品の新出年代とその後何冊の著書にみられたか、図表3に示した。この図表から、明治20年～32年頃は新作品の総数は少ないが、例えば「風車」「蝶々」のように同一教材が長年にわたって採用され、明治33年～38年頃は新出作品

が多くみられ、明治39年以後は、その数は減少している。作品の題材について、自然、生活、思想・感情に分け、図表4のように、各項目に分類すると、「動物」「自然風物」「遊び」「思想・感情」が多く、さらに年代分布をみると、明治32年頃から、題材が多岐にわたり豊富になっているのがわかる。又、「思想・感情」の×印の戦争題材は、明治32年～35年及び38年に集中しており、そこには、「意地あらば攻めきたれ、弾丸あればうちかかれ…」^{註(2)}の歌詞にもみられるように、志気昂揚がうたわれている。

舞踏的遊戯作品事例をみると、フォーク・スクウェア系の行進遊戯は、「カレドニアン」にもみられるように、8呼間が動きの長さの基本となり、ターンやフォア・エンド・バック、セット、各ステップによって構成されている。唱歌遊戯は「風車」「お月様」「桃太郎」「カラス」の作品事例から、隊形変化系列の行進と歌詞にそった模倣的動作の2要素をもってつくられていることがわかり、唱歌の雅楽調から洋楽調への変化に応じて動きも次第に拍子的となり、拍子に則して動作が振り付けられているのがみられる。

又、舞踏的遊戯の特性についてみると、「楽曲ノ快活ナルモノヲ以テ運動ヲ助ケ」^{註(3)}「脚部ノ運動ニアルヲ以テ膝坐ノ習慣アルモノニ取りテハ最良ノ運動法ナリ」^{註(4)}などの運動的価値と共に、特に唱歌遊戯に関しては、「内部に認識し、感受したるものを外部に表出せしむる」^{註(5)}などのように、心に感じ表現しようとする表現的活動として、価値を認めている。また、「むかうにつなひきをしてゐるのは、をこのことでございます。そんなのは、こちらにしようかをうたつてゐます」^{註(6)}(注、和服で連手して円形をつくり歩く挿絵)にも明らかのように、舞踏的遊戯は、女性の特性を止揚するものとしての方向をもち、このことが、後年の日本の舞踊観の底流として、長く舞踊教育を方向づけることになると推測される。

以上のような舞踏的遊戯には、明治37年の文部省体操遊戯取調による教材としての確立や明治37年、43年の教科書の国定化も影響を与えている。また歌詞にあらわれた精神性については顕著な時代性が認められるがここでは省略した。

註(1) 乙訓鯛助他：「舞踏行進遊戯法」明治40年3月(博報堂)の類別用語を用いた。

註(2) 白井規矩郎：「実験詳説 遊戯唱歌大成」明治33年4月(同文館)P.110「必勝曲」より引用。

註(3) 大村芳樹：「改正増補 音楽適用遊戯の枝折」明治29年12月(三木書店)P.8

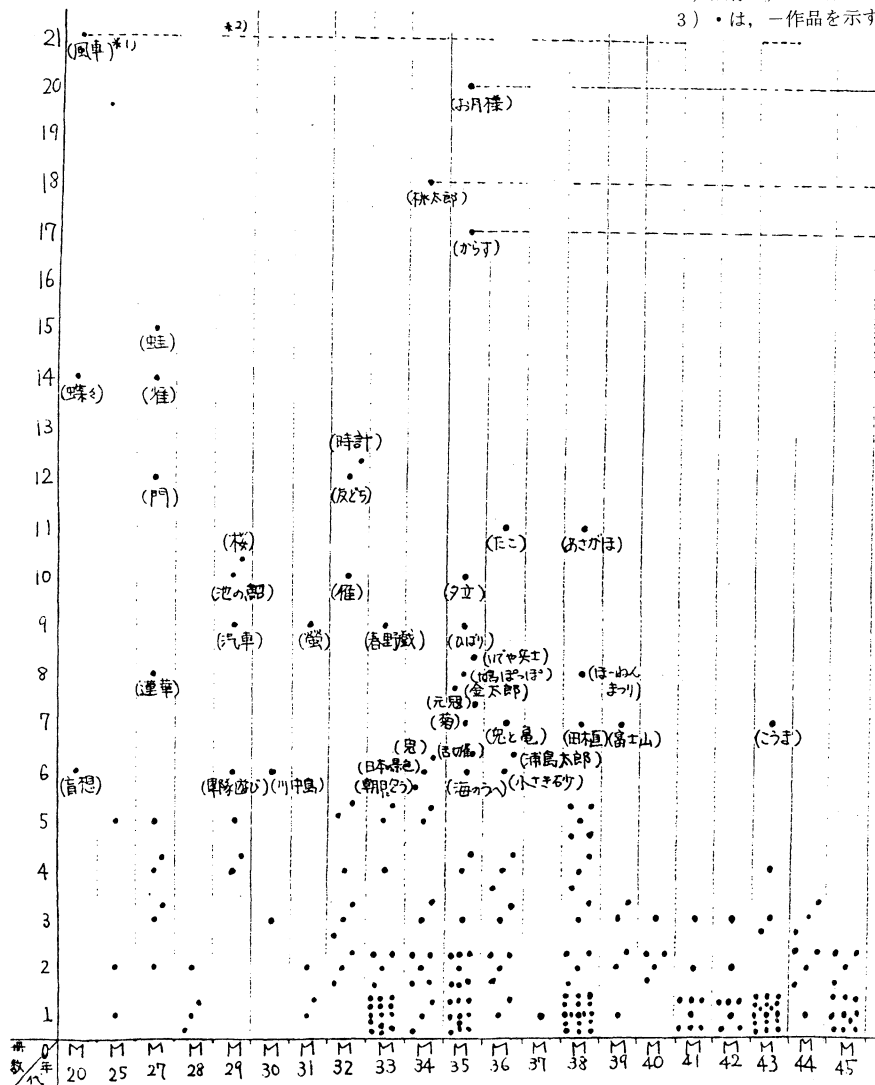
註(4) 元文部省体操遊戯取調委員：「體育之理論及實際」明治39年7月(國光社)P.352

註(5) 白井規矩郎：「新編小学遊戯全集」明治30年7月(同文館)P.3

註(6) 文部省検定「帝国読本巻之二」明治26年9月(学海指針社)P.5

表 3. 唱歌遊戯の新出作品とその内容(題名)

註1) 題名は、6冊以上のものに付けた。
 2) 点線は、その作品が著書にていた年代。
 3) ・は、一作品を示す。



(「新編表情遊戯」高井徳造 明治35年2月 岐阜・浅野兵吉 P.17~24)

「桃太郎」

※図も原著より引用

作歌土方菊三郎
 作曲高井徳造

拍子 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2

曲 5.5.3.6 | 5 0 | 3.3.5.5 | 3.3.1 | 2.2.3.2 | 1 0 | 6.6.5.5 | 1.1.3 | 2.2.1.2 | 3 0

歌詞 桃太郎 さん お膝のものは 何ですか 日本 一の きびだん こ

動き 手招き (3回)

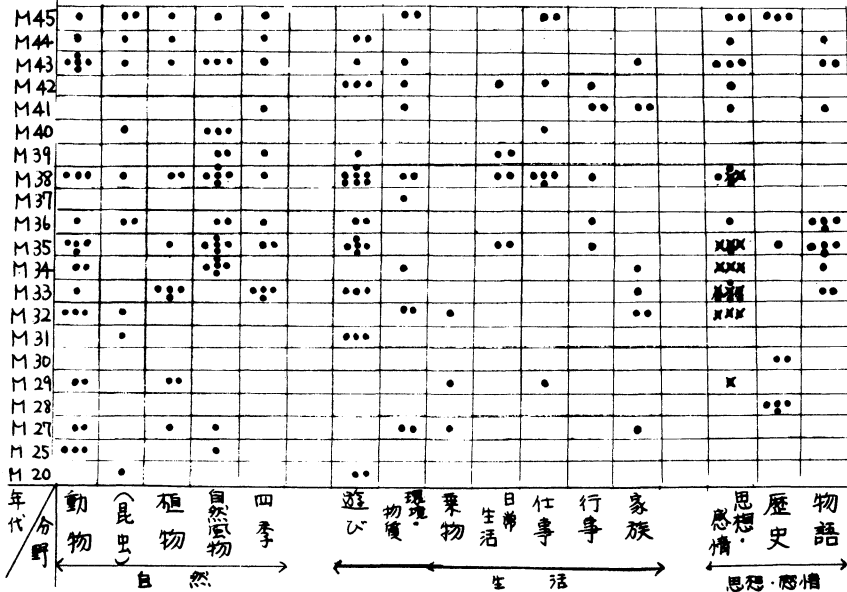
拍子 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2

曲 5.5.5 | 5.6.5.3 | 1.2.3.2 | 1 0 | 5. 1 | 3 0

歌詞 ひっつ くだされ おとし よ ワンワン ワ

動き (前3足) 拍子 (後3足) 拍子

表4. 唱歌遊戯 (明治20年~45年における作品題名の分布)



註1) ・は一作品を示す
 2) ×は戦争題材の作品を示す
 3) 総作品数 236 作品

表5. 唱歌遊戯 (明治20年~45年における作品題名)

分野	項目 (計)	作 品 題 名
思想・感情	思想・感情 (34)	進め進め, 真直に立てよ, 忠孝, 操練, 敬禮, 参謀戯, 三城戯, 日本男児, 必勝曲, 兵士来る唱歌, いでや兵士, 戦闘歌, 軍隊遊び, 騎兵隊, 軍のまね, わが帝国, 御国の為め, 勇士の芽生, 軍鑑, よく学びよく遊べ, 何事も精神, 大和心, 愉快々々, 元気よく, 母の心, 親の恩, おもひやり, 仰ぎ見よ, 小隊, 見渡せば, なかよく遊べ, 弓弦の響*, 日の御旗, 同胞ここに五千萬
	歴史 (11)	赤穂義士, 仁田四郎, 那須與一, 豊臣秀吉, 二宮金二郎, 加藤清正の舞, 熊谷直実の舞, 楠正成の舞, 元寇, 成歎役の舞, 川中島
	物語 (15)	天津乙女, 針の道, 舌切雀, 忠孝雀, 大黒様, さるかに, 一寸法師, 桃太郎, 金太郎, かちかち山, 兎と亀, 花咲爺, 浦島太郎, 牛若丸, 弁慶
自然	動物 (29)	雞, 蛙, 駒, 雀, 一羽の鳥, 池ノ鯉, 家鳩, 鼠, 川瀬の千鳥, 雁, にはつ鳥, 獣あそび, からす, 梅に鶯, ひばり, 鳩ぼっぱ, 池に金魚, わし, 猫の子, 犬, わたり鳥*, 沖の鷗*, 雛, こうま, 兎, ひよこ, タコノウマ, ぼちとたま, 鴨越, 白よこいこい
	(昆虫) (9)	蝶, 螢, 蜜蜂, 飛び来る蜻蛉, 蜘蛛, とんぼ, 虫のこえ, 蟬, 蜻蛉つり
	植物 (15)	蓮華, 桜, 椿, 瓢箪, 花三種, 花紅葉, 花つくり, 菊, あさがほ, なのはな, 薔薇*, 桜冠舞*, 木の葉, 紅葉, 青葉
	自然の風物 (30)	風と波, 富士の裾野, 朝日に匂ふ, 磯の波, お月様, 海, 夕立, 春の山, 小さき砂, 雪, 日本の景色, 雨々小さめ, 雪ふる庭, あられか雪か, 小川, 春の景色, 富士山, 虹, 箱根の山, 星, 雷, 雲, かすみ, 月影, 大江山, 飛鳥川, 銀河, 雨, 黒き烟, ちらちらほろほろ
四季 (11)	花さく春, 春野戯, 秋野戯, 秋, 小春, 四季, 九月, 春が来た, 冬の夜, 春秋, 春は梅見	
生活	遊 び (30)	風車, 天神遊, 毛巻, 毬, 吹なす喇叭, 廻れ獨楽, たこ, 蹴球遊, フットボール, 春効打球, 運動, のあそび, 水遊び, かごめ, 盲鬼, だるまさん, おきあがりこぼし, 木馬, 風船, 紙鳶, 人形, 風車と子供, 箱庭, 雪達磨, 雪の大砲, シャボンマ, 笛と太鼓, 数へ歌, 花笠, 口はひとつ
	環境・物質 (12)	門, 時計, 燈臺, 家の紋, 新聞紙, 黒いしゃっぼ, 赤すじしゃっぼ, 案山子, 團子, うづまく水, 学校, 港
	乗 物 (3)	汽車, 舟遊, 車
	日常生活 (7)	明日は日曜, あした, 朝起き, お早う, さよなら, 夏休み, 年の暮
	仕事 (9)	民草, せんたく, そーじ, 田植, 取入れ, 茶摘, 漁業, かりうどと兎, 楽隊
	行事 (7)	お正月, ほうねまつり, 大寒小寒, 祝慶行列, 運動会, きんしくんしょう, 鯉職
家族 (7)	兄弟妹, 友だち, 子供々々, ちゝはゝ, 家庭, 団体, 三才女	
	分類不明 (3)	招くぞよ, 歌舞, メグレ

註) *印は, 高等女学生以上を対象とした作品である。